



吉田けいぞう

No. 9

KEIZO REPORT

越前市議会
市民ネットワーク

越前市

まちづくり トピックス ～直近の主な市政情報～

(仮称)市民センターについて (駅前アルプラザ武生内)

3階



オープンシアター利用(予定)団体
・いきいきシニアクラブ
・NPOえちぜん
・国際交流協会
・自治連合会
・身体障害者福祉連合会
・男女共同参画センター
・ピノキオ

開館時間 8:30～23:30
休館日 年末年始

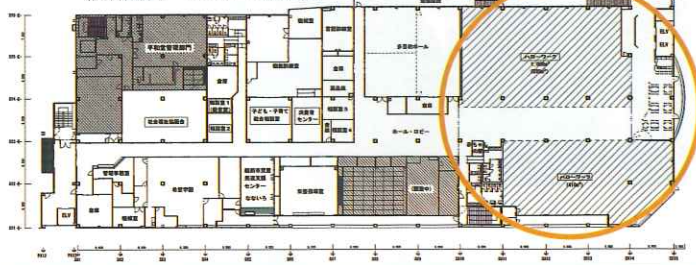
区分	面積	定員	備考
多目的室①	300㎡	180人	簡易間仕切り用により分割して使用
多目的室②	127㎡	76人	歌、踊り、演劇の練習室等として使用(南面の壁に鏡あり)
大会議室①、②	100㎡	60人	
中会議室①	45㎡	27人	
中会議室②、③	53㎡	31人	
中会議室④	46㎡	27人	
小会議室①、②	19㎡	11人	
小会議室③	12㎡	7人	
和室	20㎡	-	12畳
学び・体験・表現ゾーン	120㎡	-	歌やダンス・劇等の表現練習ができるスペース(プロジェクターあり) (※面積や定員については確定ではありません。基本・実施設計により変更があります。)

平成31年11月 子ども広場オープン
(開館時間 9:30～17:30)



雨や雪の日でも
屋内で遊べます。

4階 平成32年5月 ハローワーク移転
(開館時間 8:30～21:00)



- ・ハローワーク移転により、子供・子育て総合相談室と消費者センターが隣接するようになるため利用者にとって一体的な導線ができあがり、利用しやすくなる。
- ・課題:アルプラザ立体駐車場について、ハローワークや子供広場利用の人們が、駐車場を無料で利用できる仕組みを考えなければならない。

市道路無雪化事業整備計画(案)

消雪装置を道路に取付ける
工事です。

平成30年2月の大雪による東西アクセス道路が麻痺したことにより重点に整備する

期間 平成31年度～平成40年度 (前期5年:平成31年度～平成35年度 後期5年:平成36年度～平成40年度)

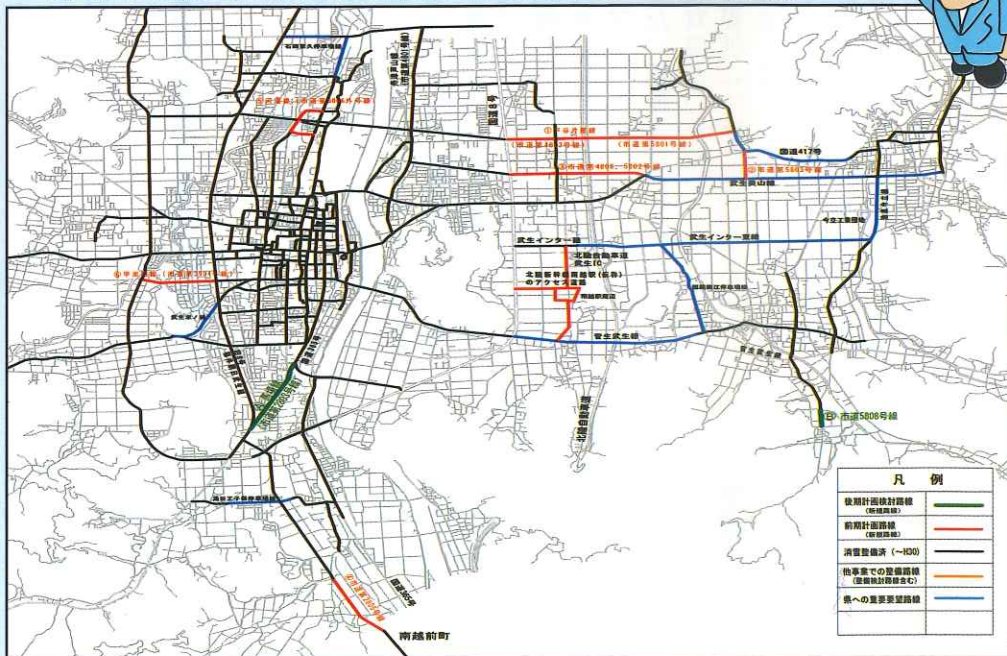
越前市道路無雪化事業整備計画図(平成31年度～平成40年度)

【前期】

- 戸谷片屋線(市道第4803、5801号線)
 - 国道8号と国道417号を接続する重要な路線
 - 公益施設への往来、大規模事業所への従業員の通勤などの車両の降雪時の円滑な通行の確保
 - 市道第4803号線の一部が市バス『のろっさ』の運行路線であり、運行車両の降雪時の円滑な通行の確保が必要
 - 市道第5803号線
 - 国道417号と武生美山線を接続する重要な路線
 - 緊急車両の降雪時の円滑な通行の確保(南越消防組合東消防署)
 - 福祉バスの円滑な通行の確保
 - 市道第4806、5802号線
 - 国道8号と武生美山線を接続する重要な路線
 - 交通量(6,136台/日)が多い。
 - 武生美山線へ消雪水の供給するため、市道第5802号線の経由が必要
 - 市道第2805号線
 - 越前市と南越前町を結ぶ国道365号のバイパス道路として重要な路線
 - 市町境の南越前町側東谷国界線については、消雪施設の整備が完了
 - 勾配が6%以上あり発進停止が困難
- 北陸新幹線南越前(仮称)のアクセス道路
- 新幹線の利用のため、南越前(仮称)までのアクセスを円滑にする。
 - 南越前(仮称)に併設される「道の駅」には国道8号、北陸自動車道武生インターチェンジに近接しているため、丹南地域の拠点である一方、災害時(震災、大雪、台風、大雨など)の避難者の受け入れ先としての防災機能の役割がある。
 - 南越前(仮称)と国道8号、武生インター線(北陸自動車道武生インターチェンジ)、菅生武生線との各アクセス道路については、別途道路事業の中で取り組む。

【後期】

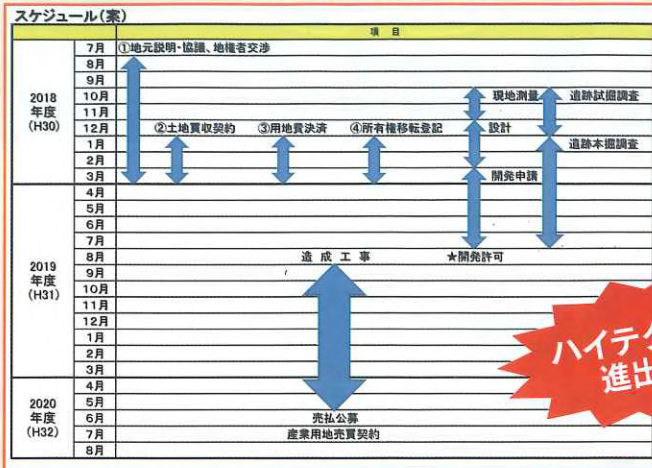
- 馬場線(市道第2803号線)
- 前計画からの継続路線
- 市道第5808号線
- 前計画からの継続路線



凡 例	
後期計画路線(仮称)	緑色
前期計画路線(仮称)	赤色
消雪設備済(～R30)	青色
後期までの整備路線(仮称)	黄色
優先整備路線	黒色

瓜生産業団地造成事業について

県内最大のものづくり都市として、新たな産業団地造成により、周辺地区の渋滞対策や除雪対策が今後の課題となってくる。



ハイテク企業が
進出予定



地域福祉の推進

代表
質問

【質問】地域で孤立する障がい者、生活困窮者、子ども達を地域でどのように育てるかなどの課題について地域福祉を推進する中で、どのように解決するか？

【答弁】地域福祉の推進については、町内福祉連絡会や地区福祉ネットワーク会議の開催により、地区で解決できることは地区で解決していただきます。しかし、地区で解決できないことについては、包括的な相談支援体制により解決する仕組みづくりに努めます。



日本一の子ども子育て環境の整備

【質問】子どもの貧困の連鎖防止のための支援策の充実と具体的な生活の底上げ支援をどのように考えているのか？

【答弁】子どもの貧困の連鎖防止については、基礎学力の向上が重要であるとの認識のもと、地域における家庭学習支援を前提とした居場所づくり、ひとり親家庭等への学習支援を推進しています。生活の底上げ支援については、貧困家庭の約半分がひとり親家庭と言われており、国の制度に基づき、児童扶養手当等の支給をしてまいります。

地域防災力の強化

屋線等の道路を重点的に選定し、整備を進めてまいります。また、生活道路を含む市道全体の消雪施設整備については、新規整備路線と既設井戸の余裕水源を活用する既設水源活用路線に整備を行い、前期計画路線の整備が終了する時点において、再度検討したい。

【質問】避難場所のバリアフリー化や、聴覚・視覚障がい者との意思疎通が確保できる情報提供体制、防災マップと要支援者名簿の一体的整備による最新情報提供体制の整備に関する考えは？

【答弁】広域避難場所である公共施設については、計画的なバリアフリー化に努めています。また、避難場所における聴覚・視覚障がいを持たれた方への情報提供については、情報提供が可能な体制整備を図ってまいります。なお、防災マップと要支援者名簿の一体的整備については、地域によってはすでにできつつあり、さらに啓発を行ってまいります。

ごあいさつ

地方議員の立場から、地域社会の将来ビジョンを描く中で、市民一人ひとりが感じる「幸福度」の向上を追及していく思いを強くしています。地域でのお困りごと、行政への要望等どんなことでも結構です。皆さんのお声をお聞かせください。



越前市議会議員 吉田けいぞう